

○今回は、11・21の表彰式での話を載せます。

今日は、市及び県の新人戦などスポーツの大会と読書感想文コンクール・交通弁論大会の表彰をしました。これらに関わり、二つの話をしたいと思います。

一つめの話は新人体育大会などに関わっています。

新人体育大会で入賞した部もそうでない部も、試合を通して、新チームの成果と課題がつかめたいと思います。また、悔しい思いをした人も多いと思います。新人戦後は、日が短くなるのに伴い、下校時間が早まり、部活動の時間も短くなっていますが、そんな中でも、一生懸命練習に励む姿が見られます。負けた悔しさを忘れず、見つかった課題を克服できるよう、これからの練習に励んでください。**大事なのは「これから」です。**

そんな皆さんに私の好きな言葉を贈ります。

それは、**何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く**

という言葉です。

スポーツ選手をはじめ、さまざまな人が、「座右の銘」として紹介しているので、知っている人もいます。「うまくいかない時こそ、足元に目を向けて、地道な努力を積み重ねていく時、やがて大きな花を咲かせるための準備期間なのだ」というような意味です。

挫折した時や苦しい時に、思い出すと力が湧いてくる言葉だと思います。部活動に限らず、たとえば、進路に立ち向かう3年生にも当てはまる言葉だと私は思っています。

二つめは、今回、コンクールや弁論大会などで表彰を受けた皆さんを見て私が思ったことです。

今回、表彰されたようなコンクールや大会は、様々な団体などから募集があり、それに応じる形で申し込んだりするものが多いと思います。ぜひ、**機会があれば、多くの皆さんに積極的に挑戦してほしい**と思います。

コンクールに限りませんが、**様々なことに挑戦する中で、自分でも気付かなかった自分自身の興味や才能が発見できることがあります。**特に、大人に向かう成長の真っ只中にある皆さんにとっては、なおさらだと思います。

私が教えた生徒の中にも、合唱コンクールでソロパートを歌ったことから、自分が歌うことが好きだということであらためて発見して、声楽家や歌手の道に進んだ教え子もいます。

日々の授業、日々の部活動などで忙しい毎日ですが、ぜひ、それ以外の興味あることにも挑戦できるといいなと思います。

挑戦しなければ苦勞も失敗もありますが、発見や成長のきっかけもつかみ損ねてしまいます。

令和5年度も後半を迎えています。西中の全ての生徒にとって、本年度の残り4ヶ月が充実した日々になるよう期待して、私の話とします。